



第81号 町長のしごと日記

～元気で笑顔のあふれる福島町を実現するために～

【前浜が一番賑わいを見せる季節に・・・】

鮮やかに咲いていた桜も散り、季節は春から夏へと変わり、町内では六月下旬からいよいよ養殖昆布の収穫作業が始まります。

福島町の浜が一年で一番賑わいを見せる時期となり、八月上旬まで朝早くから家族総出での作業が続きます。

養殖昆布もここ二年ほどは、生産額の減少が続いており、令和元年度八億、令和二年度六・三億、令和三年度五・三億となっております。単純計算ですが令和元年度対比で約三十四％の減収となっており、今年の収穫に期待を寄せるものがあります。

五月二十七日（金）に、函館市で開催された令和四年度渡島総合開発期成会総会において、新たに「交通ネットワークの形成」の重要項目として、「第二青函トンネルの建設促進」を追加することが承認され、令和五年度渡島管内主要要望

事項として取りまとめられております。

今後は、町の単独要望活動に加え、渡島総合開発期成会として、国や道へ要望することとなります。また、町では青森県外ヶ浜町や今別町などと連携を図るため、関係町を直接訪問の上、これまで経緯や活動内容を説明し、連携を図るべく活動を展開してまいります。

また、同じく、五月二十七日（金）に開催されました、定例会五月会議において、国のコロナ禍における原油価格・物価高騰等総合緊急対策として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の追加交付があり、関連予算の計上をしております。

町では、長引くコロナ禍で、消費の低迷や物価の高騰、さらに燃料の高値が続いております。ウクライナ情勢や国内の様々な要因が、町民の皆様の日常生活を圧

迫している現状を鑑み、第四弾となる生活経済支援として町民一人当り一万円の地域商品券の配布を決定しております。併せて、福島町商工会が従来から実施しているプレミアム商品券のプレミアム率三十％を五十％に引き上げるための補助金を予算計上しております。是非、一人でも多くの町民の方々にご利用いただき、地元商店街の消費拡大にご協力くださるようお願いいたします。

さらに、同議会で、四回目となる新型コロナウイルスワクチン接種に要する経費の補正を行い、七月の接種に向けた準備作業を進めております。自分の安全と皆様の安心のため、より多くの方々の接種をお願いいたします。

六月十六日（木）に、札幌国税局総務部長が来町し、町から税務署へ確定申告書の「データ引き継ぎ」を積極的に導入していることが

認められ、町に感謝状の贈呈がありました。

このことは、町はもとより町民の皆様の税の申告に対する意識の高さと、行政における住民サービスの向上と効率化が同時に評価されたものであります。

私の役場での仕事のスタートは、税務課で五年間勤務し、税Ⅱ財政の基盤を学び、現在に至っております。当時は人口が一人を超えており、毎日、申告の受付に汗を流し、夜遅くまで整理に追われたことを思い出しております。

当町は、道内でも他の町に先駆けて税などの電算化が進んでおり、先輩たちの努力が感謝状につながったものと感じております。

税は、行政の根幹をなすものであり、これからも公平・公正を基本に、皆さんが納得できる税の賦課に努めてまいりますので、ご理解をお願いいたします。